

○平成30年10月17日～19日 交流促進特別委員会の県外行政視察を行いました。

交流促進特別委員会では、「本県における鉄道ネットワークの確保・維持について」及び『断トツ』の文化芸術を活かした地域活性化について」を調査事項として、北海道内において計5カ所の視察を行い、事業概要について説明を受けるとともに、質疑を行いました。

	視察箇所	場所	調査内容等
①	安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄	北海道 美唄市	廃校になった学校跡地を活かし、誰もが気軽に利用できる美術館であることの説明を受けた後、持続可能な運営を行うための取り組みなどの質疑を行い、彫刻公園を巡り自然と溶け合った作品を視察しました。
②	三浦綾子記念文学館	北海道 旭川市	各施設の概要について説明を受けるとともに、国道237号沿いにある文学、美術、演劇の異なるジャンルの3施設が、本年6月に「R237芸術の旅3館連携協定」を結び、各施設それぞれの強みを活かしながら、車で1時間以内で相互の施設を回れる利便性を活かした3館を巡るバスの旅の企画などの情報発信の取り組み等の説明を受けた後、年間来館者数や交通アクセス、3館連携の取り組み等について質疑を行い、作品、アトリエ、演劇練習風景などを視察しました。
③	後藤純男美術館	北海道 空知郡 上富良野町	
④	富良野演劇工場	北海道 富良野市	
⑤	旭川市地域振興部 (於・旭川市議会)	北海道 旭川市	旭川駅の利便性向上を目指した中心市街地のまちづくりの取り組みや鉄道を維持するためのJR北海道と地域の取り組みの説明を受けた後、国の役割についての要望活動における国の反応やJR北海道の上下分離方式の提案に対する対応等の質疑を行いました。



①安田侃彫刻美術館



②三浦綾子記念文学館



③後藤純男美術館



⑤旭川市地域振興部



④富良野演劇工場